

写真左は、くまもとアートポリス推進賞選賞に選ばれた本学レストラン「ピリア」の外観。同右は、開放感のあるピリア内部



「ピリア」にアートポリス推進賞選賞

新レストラン 開放的造り 本学の新たな顔に

本学レストラン「ピリア」が、熊本県が県内の優れた建築物を表彰する第28回くまもとアートポリス推進賞の「推進賞選賞」に選ばれました。

新レストランは、学生数の増加に伴う大学レストランの収容能力不足を解消するために旧アリーナを改装したものです。戸田建設が設計施工にあたり、2020年8月に竣工。同9月から営業しています。鉄骨2階建て、延べ約1960平方メートル。

改装にあたっては、約600～700席の確保を目標とし、建屋外正面に高さ9メートルの屋根を伴った増築部分を設け、既存建物の2階部分の増床範囲を極力抑えています。これにより、アリーナ特有の大

空間を保つことができ、広々とした開放的な造りとなっています。建物自体が正門近くに位置していることもあり、本学の新たな“顔”としても親しまれています。

アートポリス推進賞は、概ね5年以内に竣工した県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物を対象としています。本年度は最優秀賞にあたる推進賞に3件、優秀賞にあたる推進賞選賞に4件が選ばれました。

表彰式は来年1月23日（木）に県庁で行われます。（NL編集部）

専門の枠を超え 症例検討

学部4年次生の必修科目「チーム医療演習」の発表会が14日（木）、50周年記念館と1300L講義室の2会場であり、312人が30グループに分かれ、症例検討の成果を発表しました。

同演習では、専門分野の異なる学生同士が10～11人のグループを組み、あらかじめ与えられた模擬症例の検討を行います。相手との考えや立場の違いを理解し、チーム医療を行うために必要な相互理解を学ぶことが狙い。学生たちは、10月17日（木）から5週間にわたって取り組んできました。

発表会は、1グループ持ち時間13分（発表8分、質疑応答5分）で実施。各グループともスライドを使いながら、個々のメンバーが各自の専門の立場から病態の分析や看護・リハビリの方向性などについて詳細に説明していきましました。発表直後の質疑応答では、会場のあちこちから質問が相次ぎ、発表班のメンバーたちは一つ一つ丁寧に答えていました。（NL編集部）

4年次生「チーム医療演習」



壇上に立ち、症例検討の成果を発表する学生たち

データを“誘拐”し人質に

ランサムウェア

皆さんは「ランサムウェア」ってご存じでしょうか？警察庁によりますと、ランサムウェアとは「感染するとパソコン等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価（金銭や暗号資産）を要求する不正プログラム」のことです。つまり、「データを誘拐し人質に取る」不正プログラムです。

従来のランサムウェアは、不特定多数の利用者を狙って電子メールを送信するといった手口が一般的でした。しかし、最近では、ネットワーク機器のぜい弱性を狙って侵入する手口が多く確認されています。さらに、データを誘拐し人質に取った上で、「対価を支払わなければデータを公開する」などと要求する二重恐喝の手口が多く確認されています。

万が一、ランサムウェアに感染もしくは感染が疑われる場合は直ちにコンピューターのLANケーブルを抜き取り、当該コンピューターを学内ネットワークから切り離してください。そして、コンピューターの電源はONのままにしておいてください。その上で、IR・情報システム室までお問い合わせください。（共通教育センター 山鹿敏臣）

年内入試で最も受験規模が大きい学校推薦型選抜（指定校・公募）が16日（土）に実施されました。

午前中は筆記試験、午後は面接試験が行われ、今年も多くを受験者が試験に臨みました。

11月とは思えないような暑さでしたが、体調不良を訴える受験者はおらず、滞りなく終了いたしました。合格者の発表は12月2日（月）です。

（入試・広報課）

学校推薦型選抜を実施



BLS部

救命の流れ確認

BLSインストラクターの伴哲司さんをゲストに招いてのBLS（一次救命処置）の講習会を18日（月）、2306実習室で開催しました。来年2月16日に行われる熊本城マラソンでAED隊として活動する予定の26人が参加。伴さんの指導のもと、傷病者の発見から救急隊が到着するまでのBLSの一連の流れを学び直しました。

特に、AEDが到着するまでの約5分間や救急隊が現場に到着するまでの約8分間を想定した実践的な訓練を行いました。チームプレーを重視した訓練では、8分間という長い時間を1人で心臓マッサージし続けるのがいかに厳しいかを体感し、疲労が蓄積する前に交代することで、負担を軽減しつつ、途切れることなく心臓マッサージを継続できる方法を身につけました。

また、BLSの基本的な流れに加えて、特別な状況への対応方法も学びました。例えば、傷病者がうつ伏せの状態で見つかった場合に安全に仰向けにする技術や、寒冷環境下での保温対策、タオルケットを使って複数人で傷病者を安全に運ぶ方法、さらには1人で少しの距離を運ぶ際の工夫など、実践的で役立つ内容が盛りだくさんでした。

今回の講習会では、BLSの流れを中心に訓練を行いましたが、来年1月には「救急法」をテーマにした講習会を予定しています。（リハビリテーション学科理学療法専攻 岩下佳弘）

熊本城マラソンに備える



BLSインストラクターの伴さん（左）から指導を受けるBLS部のメンバーたち

柔道投げ技 下肢に加わる力は？

鹿本高生 赤外線カメラなどで計測体験

柔道で投げ技をかける際に下肢に加わる力を計測する
鹿本高校の生徒たち



鹿本高校スポーツ健康科学コースの2年生12人が12日（火）、探求の授業の一環として本学を訪れました。アリーナに設置された3次元自動動作分析装置（赤外線カメラ）10台と地面反力計2枚を使用し、柔道の代表的な3種類の技（内股・背負い投げ・大外刈り）について、下肢に加わる力を実際に計測しました。

同コース主任で柔道部顧問も務める中川太志教諭は、「生徒自身が得意な技や苦手な技への理解を深めるとともに、動作のメカニズムを学ぶことで相手を動かす戦術への応用を目指していきたい。また、今後の探求の授業にも活用したい」と教え子たちを見守っていました。

指導にあたった松原誠仁教授は、「計測は、柔道特有の視点で活発に議論を交わしながら進められた。スポーツ科学における探求活動の醍醐味を感じられる、非常に活気に満ちたものだった」と印象を語っていました。

この取り組みは12月と1月にも行う予定です。
(健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴)

インフォメーション

週間行事予定（11月26日～12月2日）

| | |
|----------|------------------------------------|
| 11/26（火） | 天草拓心高校 大学訪問 |
| 11/27（水） | 学校法人银杏学園理事会 |
| 11/29（金） | 第70回「私の部屋でランチを」、第31回「サイエンスカフェ」合同開催 |
| 12/2（月） | 言語聴覚学専攻 卒業研究発表会 |